****

**吉備の児島陸続き400年・瀬戸大橋開通30周年記念事業について**

**コンセプトは“繋ぐ・結ぶ・回遊する”**

**日本最古の書物、古事記の中で、９番目に生まれた島として「吉備の児島」が登場します。**

**島であった「吉備の児島」が、高梁川等が運ぶ土砂とその後の干拓により、天城・藤戸周辺でわずかながら陸続きになったのが、1618年頃といわれています。**

**2018年は、「吉備の児島」が本州と繫がってちょうど400年、また瀬戸大橋が開通して四国と繫がって30周年を迎えることから、岡山県・倉敷市・児島商工会議所等が中心となり、この2つの節目の年を記念して「吉備の児島陸続き400年・瀬戸大橋開通30周年記念事業実行委員会」を設立し、多彩な事業やイベントで地場産業の振興と観光客の誘致を図っています。**